

居場所と出番を、すべての人に。

都議会民進党リポート 2016 夏号

東京都議会議員 (三鷹市選出)

中村ひろし

【中村ひろしプロフィール】 1971年愛知県一宮市生まれ。一橋大学法学部卒業後、電機メーカー勤務を経て、2002年行政書士事務所を開設。2003年から三鷹市議会議員2期、2009年から東京都議会議員2期。現在、都議会都市整備委員会委員。



新たな都知事とも活発な政策議論を！ 公私混同疑惑の舛添前知事を追及し辞職へ

2016年第2回都議会定例会が、6月15日に閉会しました。この定例会では、舛添知事(当時)の海外出張や公用車の使い方に端を発し、政治資金の使途にかかわる公私混同疑惑が大きな問題となりました。



都議会本会議で舛添氏を追及する中村ひろし議員

都議会民進党は、舛添氏に対し、再三、説明責任を果たすよう迫りました。本会議で質問に立った中村ひろし議員が「都民は知事の何に怒っているのか」と厳しく追及する質問もTV等で報道されま

した。追及の結果、都民の信頼を失った舛添氏は辞職を表明しました。本レポートの作成時点(7月11日)では都知事は未定ですが、新知事とも都民のための政策の議論を積極的に進めます。都政報告会では、新知事の都政についても説明し意見交換をします。

定例会では、都政の喫緊の課題である待機児童、防災・防犯、子どもの貧困、産業政策などについても議論を行いました。

本レポートをご一読頂き、ご意見、ご要望を寄せて頂けますと幸いです。



子ども・子育て環境の整備推進を申し入れ

舛添氏に説明責任を求めると語らず

中村ひろし議員は、一般質問を行い舛添氏の政治資金の公私混同問題について追及しました。発言に虚偽の疑いがある事例を示し、説明責任を果たしていないとして追及したうえ、「知事自身が自ら潔く身を処すべき」と述べました。

都議会民進党は再発防止のため「政治資金規正法の改正を求める意見書」の政府への提出を提案しました。常識とかけ離れた使い方をしても違法性が問われないのは問題です。政治資金の収支状況を明らかにすることで使い方を正し国民の

信頼を回復するよう、法改正を強く要請するものです。残念ながら他会派が反対し提出できませんでしたが、二度とこうしたことが起きないように議会として監視の目を強めていきます。



都議会総務委員会で舛添氏の問題を追及

保育の質を確保しながら待機児童を解消せよ

都内の待機児童が更に増加し切迫した事態になっています。都議会民進党は、待機児童の解消、認証保育所利用者の保育料軽減、保育士の処遇改善、病児保育の充実、女性が働きやすい環境の整備など18項目の子育て環境の整備推進を求め緊急申し入れを行いました。代表質問でも目標を引き上げ待機児童の早期解消を提案しました。

都は「保育の利用児童数が整備目標を上回る1万4千人以上増える」と答弁した上で、「夏までに待機児童解消に向け

新たな対策を取りまとめ、整備目標を引き上げる」と述べました。

また、中村ひろし議員は、長時間労働の抑制や育休制度の改善など、乳幼児を育てる社員の支援促進を求めました。都は「長時間労働の削減や在宅勤務制度を導入する企業の支援、法を上回る育休制度を整備した場合の奨励金の支給など、仕事と育児の両立を推進する支援を始めた」と、働き方改革に積極的に取り組む答弁をしました。

都政に対する皆さまのご意見・ご要望をお寄せください

郵便はがき
料金受取人払
三鷹局承認
1905
差出有効期限
平成30年3月
31日まで

1 8 1 - 8 7 9 0
3 9 8

中村ひろし
行

三鷹市下連雀三ー二ー五
YKソナンビル三〇一

切手貼付の
はがきを
〒181-0013

ご氏名 _____
ご住所 _____
お電話 _____ FAX _____
メール _____ @ _____

首都直下型地震に備え防災対策の見直しを！ 支援物資を速やかに届ける仕組みづくりを

熊本地震では、震度7の揺れが2度襲い、想定より多い13万棟もの住宅が損壊しました。首都直下型地震への備えにおいても、現在の想定を見直す必要があります。都議会民進党は「東京の防災対策を検証し、防災力をより高めるように取り組むべきである」と提案しました。

都は「今回の地震はこれまでの経験が通用しない側面もあるとして、今後、検証作業を進める」と答弁しました。都の防災対策をより実効性の高いものとするよう取り組むこととなりました。

また、熊本では、全国から多くの物資が寄せられたにも関わらず、拠点に荷物が積み上がり、さばき切れない状況が報じられました。中村ひろし議員は「震災時に、備蓄倉庫や調達先から物資がよどみなく流れ、必要な場所に速やかに届くよう取り組むべき」と提案しました。

都は「民間企業等との協定の締結、協議や訓練を通じた情報の共有や要請手順の習熟、備蓄倉庫等での荷役の効率化などに取り組んでいる」と答え、熊本地震の状況も踏まえて、不断の検証、見直しを行うとしました。



都が備蓄倉庫として購入を提案した旧立川政府倉庫を視察



日本無線の南半分は建屋跡地

給付型奨学金を創設し 貧困の連鎖を断ち切れ

貧困の連鎖や格差拡大の解消に向けて、都のさらなる取り組みが求められています。都議会民進党は、教育がその解消に極めて重要な役割を果たすと考え、子どもの貧困実態調査の結果を踏まえて、高校生に給付型奨学金を創設すべきと提案しました。

都は「『子供の貧困対策推進連携部会』において、首都大と連携した調査研究結果も活用し、子供の貧困対策を検討する」と、今後、都において、さらに貧困対策を検討していく意向を答弁しました。

相次ぐ事業所の撤退を防げ

都はかつて「多摩シリコンバレー」を形成するとしていましたが、近年では電機産業の大手事業所が多摩地域から相次いで撤退をしています。三鷹市内でも日本無線が移転を表明する中、三鷹市の働き掛けもあり南半分は他の事業所が誘致されました。中村ひろし議員は、都も深刻に受け止め多摩地域の産業活性化に積極的に取り組むよう求めました。

都は「産業の空洞化が無秩序に進むことを防ぎ、製造業等の集積を守ることは重要」とし「企業間の技術連携の促進、中小企業、大学、金融機関等によるネットワークづくりなど市区町村と連携して取り組む」と答弁しました。

ひろしのつぶやき



都民が何に怒っているの分からないまま・・・

舛添氏への質問が全国版で報道され、多くの方から「テレビで見たよ」と声を掛けられました。舛添氏の問題は3月頃から報道が始まり、毎週金曜日に行われる記者会見での対応が悪く、かえって都民の感情を悪化させていきました。本会議で初めて説明した6月1日には、もはや辞職やむなしという状況でした。質問の最初に、率直に「都民が何を怒っているのか分かっているか」と問うたのですが、

通り一遍の答弁しかありませんでした。報道が過剰であったとは言われますが、元はご本人の問題です。猪瀬氏でさえ都庁を去る際には各会派をまわり挨拶ぐらひはしたものの、舛添氏は本会議場の発言後、まったく語ることもなく去っていったのは残念でした。



お知らせ 都政報告会を開催します

8月27日に都政報告会を開催いたします。どうぞお気軽にご参加下さい。
※当日参加も可能ですが、準備の関係上、事前にご一報いただくと幸いです(左のはがきをご利用ください)

とき 8月27日(土)
10:00~11:45
ところ 三鷹市市民協働センター
2F 第1会議室
(三鷹市下連雀4-17-23)



中村ひろし事務所

〒181-0013 三鷹市下連雀3-22-5 YKソナンビル301
TEL: 0422-70-2065 FAX: 0422-70-2056
E-mail: hnakamura1971@yahoo.co.jp
http://nakamurahiroshi.jp.org/ (毎日更新中)

中村ひろし

